

葛西用水にある享保年間の市川へ行く道しるべ

(1) 葛西用水取水口そばは路傍

1. 道標付き文字庚申塔 (『越谷市金石資料集』庚申塔八一番)
所在地 西方・葛西用水取水口西側の道路南側路傍
石塔型式 上部山状角型 (北東向き・高さは中)
年号 享保八年 (一七二三)

〔左側面〕

これより上ちおんじ三里はん

※上^{かみ}上流の意味

〔正面〕

享保八 癸卯年

太郎右衛門

庄左衛門

久左衛門

五郎三郎

兵三郎

久三郎

伝兵衛

庄八

八郎兵衛

金兵衛

太兵衛

(梵字) 庚申講中

十月

〔右側面〕

これより左吉川へ巷里大さかみ内

※大さかみ大相模

これより右市川まで五里

※「これより右」を「房川

〔裏面〕

たび人の道しるべもかな

(の渡し) (栗橋の利根川

しるし石

にある渡し) とする説が

もちはくちせぬのり

あるが、誤りである。

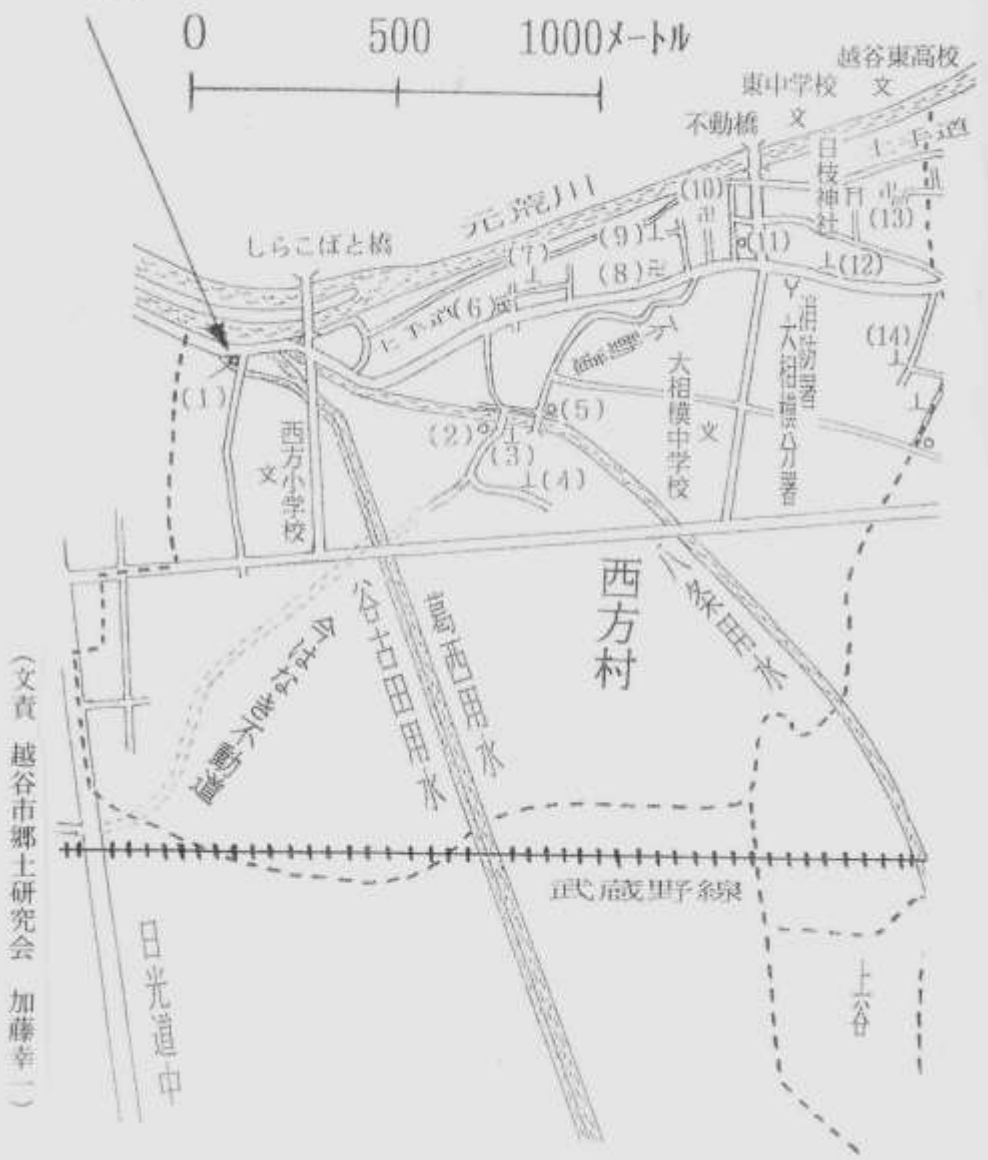
かよいち

※道しるべを兼ねた庚申塔。上部にある梵字のウーンは青面金剛を表す。

※西方村の周辺の村々は、元荒川の下流にある大相模の不動尊や吉川、元荒川の上流にある慈恩寺(現、岩槻市)、遠くは下総国の市川(現、市川市)との人々の交流が見られていたであろう。ここから市川へ行く道筋は、葛西用水路に沿って南下し、日光街道の現在の千住五丁目からくる水戸佐原道を利用したと、今日まで残っていたお陰で推定できる貴重な道標である。なお、葛西用水の東側隣に平行に南下して流れていた本所上水(下流は、亀有上水)は、前年の享保七年に廃止となっている。

※すぐそばに谷古田(やこた)用水の元塚(もといり)がある。これは、明治24年(一八九一)に作られ、現存する最古の煉瓦樋門であるという。越谷・流山線の道路南側にその名残がある。保存が望まれる。

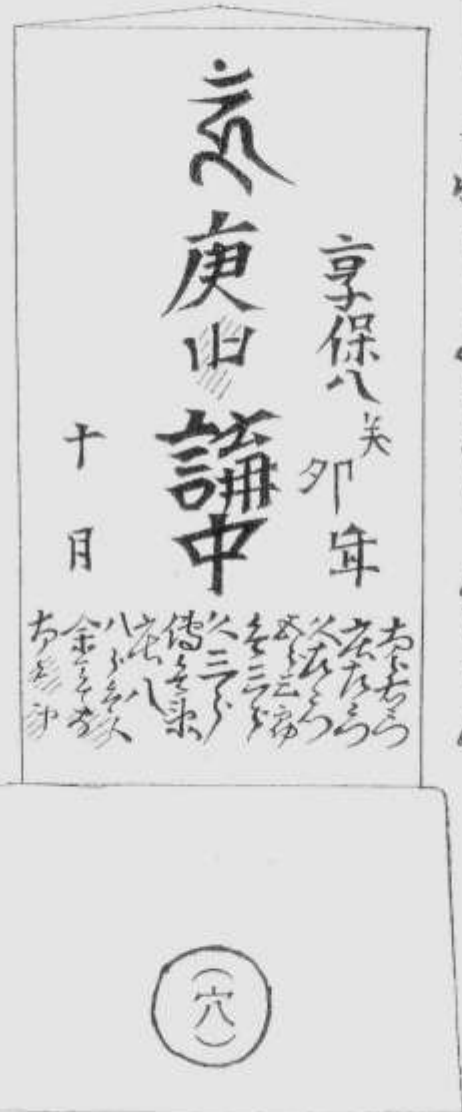
1 西方



(文責 越谷市郷土研究会 加藤幸一)

「側面」

これより右市川まで
これより左市川まで



「側面」

これより上ぢあん下まで



葛西用水取水口

1 西方
道標付き文字庚申塔